

## (9) 生徒指導研究会

会長 栗本 健 (中村中)  
副会長 上田 壮 (下田小)  
事務局 野村 綾彦 (中村中)

### 1. 研究主題 「日常的に使える効果的なSST」

### 2. 研究経過

実施年月日	研究のあらまし	会場	備考
令和7年8月1日	夏季研修会 スクールカウンセラーによる講話 「日常的に使える効果的なSST」 講師：西岡 美緒 高知県教委人権教育課 「四万十市の少年補導の現状」 講師：稲田敬大 四万十市少年補導センター	中村中学校	9名

### 3. 令和7年度 四万十市教育研究会 夏季研修会

今年度の夏季研修会では、高知県教育委員会人権教育課より、西岡美緒カウンセラーを、四万十市少年補導センターより、稲田敬大氏を講師に招聘し、上記の内容について講話と協議を行った。

西岡氏の講話では、ソーシャルスキルとは人と対する場面でふさわしい振る舞いができる能力のことであること、その能力には、自分のことは自分でする、あいさつをするなどの基本的なスキルと、問題解決のためのスキルや友達関係等のスキルなどの高度なスキルに分けられることなどの説明があった。また、なぜソーシャルスキルが必要なのかということにも触れられ、自己実現のためであり、社会不適應の予防になること、そしてその力が、叶えたい生き方を実現するための基盤となるものということを教えていただいた。

講義の後半では、児童生徒の具体的な事例を基に、困り感の背景や、その児童生徒にどのような力を身につけさせてあげたいか、などを考え、グループで意見を交流した。また、その場面を想定し、児童生徒役、先生役に分かれてロールプレイを行い、より実践的な対応の仕方について考えを深めることができた。日常場面で使える手法として、周囲を巻き込む声掛けの仕方や、気持ちの良い聴き方などを教えていただき、それぞれの教員がすぐに活用できることについても教えていただくことができた。

少年補導センター稲田氏の講話では、見回りをしている中で特に気になる児童生徒の問題行動や、公共施設の利用の仕方に課題があることなどを指摘していただき、それぞれの学校での指導に生かすことを確認した。

### 4. 今年度の成果と課題

研修会では、日常で実践できる内容の講話を聴くことができ、各校での実践につなげることができた。また、各校の生徒指導上の課題を共有することができ、共通する課題について協議を深めることで、日々の生徒指導に生かすことができた。